

## ナーナイ語の所有表現

風間 伸次郎

ナーナイ語はツングース諸語の1つである。ツングース諸語は、類型的にみて日本語にもよく似たタイプの言語で、もっぱら接尾辞による膠着型言語である。語順はHead-final, つまりSOVで修飾語-被修飾語の語順をとる。基本的にIPAをベースにした音素表記によるが、一音素一文字の原則などの理由から、次のような独自の音素表記も用いている: č[tc], ʃ[ɕ], ŋ[n].

コンサルタントはKile, Lidiya Timofeevna氏(1938年, ナイヒン村生まれ, 女性)である。調査はロシア語を媒介言語にして行った。今回の例文はあまり構文の複雑なものではなかったもので、日本語のアンケートをもとに筆者(風間)がロシア語に翻訳しながらナーナイ語を訊いた。ロシア語に関して不安な点は氏に修正していただいた(氏はロシア語とのバイリンガルである)。日本語文の下の[ ]内に使用したロシア語文を示す(フォントの都合上, ラテン文字に転字したものを示す, 転字の対応については省略する)。なお, 今回の調査では, コンサルタントにただ訳してもらえばかりではなく, 筆者(風間)がいくつか可能性のある表現を作例し, その句/文の適格性を判断してもらう場合もあったことをこたわっておく。また, 連体修飾句などを調査する場合には, 適宜, 語を補って文の形にして訊いた。

(1) あの人(は)青い目(を)している。 / 青い目(の)人・目(が)青い人

[U nee sinie glaza.]

ňoani      nasal-ni      ŋongian.

彼女      目-3SG      青い

次のような文は一応理解できるが, あまり聞かない, 発話するのはまれであろうという。

ňoani      ŋongian(-ji)      nasal-ko.

彼女      青い-INS      目-PROP

次のように言うとき, 「青い目」というものが何か別個に存在する物であるかのように感じられるという。

ňoan-do-a-ni      ŋongian      nasal      bi-i-ni.

彼女-DAT-OBL-3SG      青い      目      ある-PTCP.PRS-3SG

次のような文は可能で、ふつうに用いられるという。

ňoan-do-a-ni    ňongian    nasal.  
彼女-DAT-OBL-3SG 青い      目

なお調査の際の不幸で、(1)～(6)に関しては連体修飾句の該当表現を調査し損なってしまった。

(2) あの女 {は／の} 髪が長い・あの女は長い髪をしている

[U nee dlinnyj volas.]

ロシア語を提示して最初に得られたのは次の文であった。

ňoan-do-a-ni    ňonimi    nuktä.  
彼女-DAT-OBL-3SG 長い      髪

次に2文のような表現も問題ないとのことであった。

ňoani      ňonimi-ŷi    nuktä-ku.  
彼女      長い-INS    髪-PROP  
ňoani      nuktä-ni    ňonimi.  
彼女      髪-3SG      長い

次のような文は可能だが、「頭のある部分は髪が長く、別の部分は短く、虎刈りになっている、というような意味に解釈される、使わない方が良い文である、」とのことであった。

ňoan-do-a-ni      ňonimi    nuktä    bi-i-ni.  
彼女-DAT-OBL-3SG    長い      髪      ある-PTCP.PRS-3SG

(3) あの人には髭がある。

[U nego usy.]

ňoani      gogakta-ko.  
彼      髭-PROP

この場合には bi-i-ni 「ある-PTCP.PRS-3SG」を用いて完全な存在文にしても表現できるという。「目や髪の毛とは違って、髭はある人もいれない人もいるから、」であるという。

ňoan-do-a-ni      gogakta    (bi-i-ni).  
彼-DAT-OBL-3SG      髭      ある-PTCP.PRS-3SG

(4) あの人には（見る）目がある。

このような文は直訳しても成立しないという。次のような文は、「On vypivshij., すなわち完全な酔っ払いではないが少し酔っ払っている、という意味に解釈され、『目のいい人』

という意味には解釈できない。」という。

ňoani      nasal-ko.  
彼            目-PROP

さらに次のような表現は、『『足の速い人』の意味にとれなくもないが、『1歳くらいの子供でもう歩ける』、とか『病気の人々の中で歩ける』、などの意味に解釈されるだろう、』という。

ňoani      bəgji-ku.  
彼            足-PROP

次のような存在文は如何様にも解釈できず、非文であるという。

\*ňoan-do-a-ni    nasal      bi-i-ni.  
彼-DAT-OBL-3SG    目            ある-PTCP.PRS-3SG

(5) あの人 は 22 歳だ。

[Emu 22 goda.]  
ňoani      xor(in)      juər səə.  
彼            二十          二 歳

次の 2 文も可能であるという。

ňoani      xor(in)      juər-ji      səə-ku.  
彼            二十          二-INS      歳-PROP  
ňoan-do-a-ni    xor(in)      juər səə.  
彼-DAT-OBL-3SG    二十          二 歳

しかし存在動詞を用いた完全な存在文は非文と判断された。

\*ňoan-do-a-ni    xor(in)      juər səə    bi-i-ni.  
彼-DAT-OBL-3SG    二十          二 歳      ある-PTCP.PRS-3SG

(6) あの人 は 優しい性格だ。

[U nego dobryj xarakter.]

次の 2 文は的確な文であると判断された。

ňoani      muru-ni      uləən.  
彼            心-3SG      良い  
ňoani      uləən-ji      muruŋ-ku.  
彼            良い-INS    心-PROP

他方、次の2文は非文と判断された。

*ňoan-do-a-ni	uləən	murun	bi-i-ni.
彼-DAT-OBL-3SG	良い	心	ある-PTCP.PRS-3SG
*ňoan-do-a-ni	uləən	murun.	
彼-DAT-OBL-3SG	良い	心	

(7) あの人は背が高い。／背の高い人

[On vysokij.]

ňoani	gogda.	/	gogda	nai
彼	高い		高い	人

次のように与格を用いて存在文のように表現しようとする時、ňoan-doi gogda. [ 彼-COMP 高い ] 「彼よりも高い」の意味になるという。

ňoan-do-a-ni	gogda.
彼-DAT-OBL-3SG	高い

(8) あの人は背が190センチもある。

[Ego rast 190 s.m.]

ňoani	gogda-laa-ni	190 s.m.
彼	高い-NMLZ-3SG	190 センチ

-laa は日本語の -sa のように形容詞についてその程度を示す名詞を形成する接辞である。

(9) その石は四角い形をしている。／四角い(形の)石

[Etot kamen' chetyrex ugol'noj formy.]

ai	řolo	duin-ři	řokan-ko	/	dua-ku.
これ	石	四-INS	角-PROP		端-PROP

(10) あの人には才能がある。／才能のある人

[On talantlivyj.]

次のような一連の表現が可能であるという。なお -so/-su は動詞につき、「～することの上手な人」などの意の名詞を形成する接辞である。派生接辞であるにもかかわらず、下記の例のように動詞の項構造を保持している点で注目し値する。

ňoani	xai-wa=daa	xəm	saa-so.
彼	何-ACC=CUM	全て	知る-NMLZ

ňoani	xai-wa=daa	xəm	otoli-so.
彼	何-ACC=CUM	全て	わかる-NMLZ
xai-wa=daa	xəm	otoli-i	nai
何-ACC=CUM	全て	わかる-PTCP.PRS	人
ɲaala-ni	paksii	nai	
手-3SG	器用	人	

- (11) あの人は病気だ. /あの人は熱がある. /病気の人  
[On bolen. On boleet.]

ňoani	ənusi-i-ni.
彼	病んでいる-PTCP.PRS-3SG

[bol'noj chelavek]  
ənusi-i                      nai  
病んでいる-PTCP.PRS      人

次のように -so/-su を用いた表現は、「しょっちゅう病気する人や子供」を意味するとい  
う.

ənusi-su	nai
病んでいる-NMLZ	人

[U nego temperatura.]  
ňoani      poloŋ-ko.  
彼          熱-PROP

この場合、存在文による表現も可能であるという。恒常的な状態ではないためであろう。

ňoan-do-a-ni	polon	(bi-i-ni).
彼-DAT-OBL-3SG	熱	ある-PTCP.PRS-3SG
poloŋ-ko	nai	
熱-PROP	人	

- (12) あの人は青い服を着ている. /青い服の男  
[On nadel sinij kostjum.]

ňoani	ňongian	tətuə-wə	tətu-xə-ni.
彼	青い	服-ACC	着る-PTCP.PST-3SG

上の例に見るように過去形動詞が使われる。このような例から考えれば、この形動詞は

「過去」ではなく「完了」形動詞と呼ぶべきかもしれない。次のように現在形動詞を用いた文は、「着ている最中、もしくは着ようとしていてまだ来ていない状態についてのみ言える」という。

ňoani      ñongian      tətua-wə      tətu-i-ni.  
 彼            青い            服-ACC        着る-PTCP.PRS-3SG

所有の接辞を用いた次のような文でも表現可能であるという。

ňoani      ñongian-ji      tətua-ku.  
 彼            青-INS            服-PROP  
 ñongian-ji      tətua-ku      (nai)      ji-či-ni.  
 青-INS            服-PROP      人            来る-PTCP.PST-3SG

次のように存在文を用いて表現した場合には、家などにあるかも知れず、現在着ているかどうかはわからない、時に着る、というようなニュアンスが感じられるという。

ňoan-do-a-ni      ñongian      tətua      bi-i-ni.  
 彼-DAT-OBL-3SG      青い            服            ある-PTCP.PRS-3SG

(13) あの人はメガネをかけている。 / メガネの男

[On nadel ochki.]

ňoani      { nasaptom-bi / nasaptom-ba }      tətu-xə-ni.  
 彼            メガネ-REF.SG /      メガネ-ACC            身に着ける-PTCP.PST-3SG  
 ñoani      nasaptorj-ko.  
 彼            メガネ-PROP

上記の表現はメガネをかけている時にのみ用いることができる。ポケットに入っている時などには用いることができない。そのような場合には下記のような表現となる。

ňoan-do-a-ni      nasapton      bi-i(-ni).  
 彼-DAT-OBL-3SG      メガネ            ある-PTCP.PRS-3SG

この場合に、再帰人称を用いることはできない。再帰人称を支配できるのは主格の主語だけのようであり、この意味での与格主語は成立しない。

\*ňoan-do-a-ni      nasaptom-bi      bi-i(-ni).  
 彼-DAT-OBL-3SG      メガネ-REF.SG            ある-PTCP.PRS-3SG

1 人称の所有とすれば文が成立する。

nasaptom-bi      karman-do(-ji-ja)      bi-i(-ni).  
 メガネ-1SG            ポケット-DAT-1SG-OBL      ある-PTCP.PRS-3SG

\*nasaptom-bi karman-do-ji bi-i(-ni).  
 メガネ-REF.SG ポケット-DAT-REF.SG ある-PTCP.PRS-3SG

(14) あの人には妻がいる。 / 既婚の人・妻のいる人

[On zhenatyj.]  
 ŋoani asi-ko. / asi-ko nai  
 彼 妻-PROP 妻-PROP 人

この場合には存在文では表現できないという。

\*ŋoan-do-a-ni asi bi-i-ni.  
 彼-DAT-OBL-3SG 妻 ある-PTCP.PRS-3SG

(15) あの人には3人子供がいる。 / 3人の子持ちの人・あの人の子供3人の子供／妊娠している女性

[U nego troj detej.]  
 ŋoani ilaan piktə-ku.  
 彼 三 子供-PROP

この場合には存在文による表現が可能であるという。

ŋoan-do-a-ni ilaan piktə (bi-i).  
 彼-DAT-OBL-3SG 三 子供 ある-PTCP.PRS  
 ilaan-ji piktə-ku nai  
 三-INS 子供-PROP 人

piktə-ku əktə [子供-PROP 女] は「妊娠している女性」の意味では使えないという。「妊娠している女性」は次のように表現するという。

piktə-gu-ji ələə baa-rii əktə-wə saa-rii-ja.  
 子供-DESIG-REF.SG 今にも 得る-PTCP.PRS 女-ACC 知る-PTCP.PRS-1SG

次のような慣用句的な表現もある。

bəjə-du bi-i əktə  
 体-DAT ある-PTCP.PRS 女

「妊娠初期の女性」を意味する表現には次のようなものがあるという。辞書(Onenko 1980)には「妊娠2か月目の女性」のとあるが、コンサルタントによれば、2か月目に限られず、3や4の数詞から派生した表現も無いという。juər「二」はここでは「二人」を意味しているのだという。

tai əktə juər-pun. / juər-pun əktə  
 あれ 女 二-NMLZ 二-NMLZ 女

- (16) クモには足が 8 本ある.

[U pauka vosem' nog.]

atkajan bəgji-ni jakpon. / atkajan jakpon-ji bəgji-ku.  
 クモ 足-3SG 八 クモ 八-INS 足-PROP  
 atkajan-do jakpon bəgdi.  
 クモ-DAT 八 足

上記の表現が可能であるのに対し、存在動詞を用いた次の表現は非文であるという.

\*atkajan-do jakpon bəgji bi-i-ni.  
 クモ-DAT 八 足 ある-PTCP.PRS-3SG

- (17) その飲み物にはアルコールが入っている. / アルコール入りの飲み物

[Eto alkagol'nyj napitok.]

ai arki-ko.

これ 酒-PROP

arki-ko napitoka-wa omi-mi mutə-əsi-ji.  
 酒-PROP 飲み物-ACC 飲む-SIM できる-PTCP.NEG.PRS-1SG

次のように存在動詞を用いた表現も言えるが、これは「ちょっと飲んでみた時などに言う」文であるという.

ai napitoka-do arki bi-i-ni.  
 これ 飲み物-DAT 酒 ある-PTCP.PRS-3SG

- (18) あの人はお金を持っている. / お金持ちの人

[U nego est' den'gi.]

ňoan-do-a-ni jixa bi-i-ni.  
 彼-DAT-OBL-3SG お金 ある-PTCP.PRS-3SG

[bogatyj chelovek]

bajan nai  
 裕福な 人

次のように所有接辞を用いた句でも、bajan naj と同様の意味が実現するという。裕福さ



の程度は同じくらいだが、しいて言えば *jixa-ko nai* のほうがもう少し金持ちのような気がするという。

*ñoani jixa-ko.*  
 彼 お金-PROP

(19) おまえのところには犬がいるか? / 犬のいる人

[U *vas est' sobaka?*]  
*sindu inda bi-i?*  
 おまえ.DAT 犬 ある-PTCP.PRS  
*sii inada-ko-si?*  
 おまえ 犬-PROP-2SG  
*inda-ko nai*  
 犬-PROP 人

「犬のいる人」は存在動詞によっては表現されない。

\**inda bi-i nai*  
 犬 ある-PTCP.PRS 人

コンサルタントは次のような句がよいとして提示した。

*inda-wa ataxi-i nai*  
 犬-ACC 飼う-PTCP.PRS 人

(20) おまえは（自分の）ペンを持っているか? / ペンを持っている人

[U *tebja est' ruchka?*]

最初に提示されたのは存在動詞による文であったが、所有の接辞による文も問題ないという。なお *-ko/-ku* は道具を示す名詞を形成する派生接辞である。

*sindu niru-ku bi-i?*  
 おまえ.DAT 書く-NMLZ ある-PTCP.PRS  
*sii niru-ku-ku-si?*  
 おまえ 書く-NMLZ-PROP-2SG  
*niru-ku-ku nai bi-i=nuu?*  
 書く-NMLZ-PROP 人 ある-PTCP.PRS=INTERR

(21) あの人は（誰か別の人の）ペンを持っている。

[U nego est' chuzhaja ruchka.]

ňoan-do-a-ni    goi    nai    niru-ku-ni    bi-i.  
彼-DAT-OBL-3SG    別の 人    書く-NMLZ-3SG    ある-PTCP.PRS

「自分のペンを持っている」という場合には次のように表現するという。

ňoani    niru-ku-ni    ñoan-do-a-ni    bi-i.  
彼    書く-NMLZ-3SG    彼-DAT-OBL-3SG    ある-PTCP.PRS

(22) あの人は運がいい。／幸運な人

[Emu vezet. / On udachliv(yj).]

ňoani    kəsi-ku.    /    kəsi-ku    nai  
彼    幸福-PROP       幸福-PROP    人

存在文では表現できないという。存在動詞を用いなくてもやはり非文であるという。

\*ňoan-do-a-ni    kəsi    bi-i.  
彼-DAT-OBL-3SG    幸福    ある-PTCP.PRS  
\*ňoan-do-a-ni    kəsi.  
彼-DAT-OBL-3SG    幸福

余談だが、氏の祖母はいつも kəsi xaali=daa pakario nai-či jī-dəsi。「幸運は黒々と目に見えるような形では人のところにやって来ないものだ、」とっていたという。

(23) ここは石が多い。／石の多い土地

[Zdes' kamnej mnoga.]

ai-du    jolo(-sal)    əgji.  
これ-DAT    石-PL    多い

次のように所有の接辞を用いても表現できる。ロシア語訳は Eto kamenistaja zemlja. となるという。

ai    naa    əgji-ji    jolo-ko.  
これ 土地 多い-INS    石-PROP  
ai    naa    əgji    jolo-ko.  
これ 土地 多い 石-PROP

次のよう表現も、kamenistaja zemlja の意で用いることができるという。

ʝolo-ko    naa  
石-PROP    土地

- (24) その部屋には椅子が3つある／3つ椅子のある部屋

[V etoj komnate tri stula.]

ai    komnata-do    ilaan    baŋdan.  
これ 部屋-DAT    三    椅子

所有の接辞による表現も可能であるという。

ai    komnata    ilaan-ʝi    baŋdan-ko.  
これ 部屋    三-INS    椅子-PROP  
ilaan-ʝi    baŋdan-ko    komnata  
三-INS    椅子-PROP    部屋

- (25) テーブルの上にスプーンがある．／スプーンのあるテーブル

[Na stole est' lozhka.]

dərə-du    xoŋaan    bi-i.  
テーブル-DAT    スプーン    ある-PTCP.PRS

この場合には所有の接辞による表現は不可で、どのようにも意味が解釈できないという。

\*dərə    xoŋaan-ko.  
テーブル    スプーン-PROP  
\*xoŋaan-ko    dərə  
スプーン-PROP    テーブル

連体修飾の表現はやはり次のように存在動詞によって形成される。

xoŋaan    bi-i-ni    dərə-či    ənə-u.  
スプーン    ある-PTCP.PRS    テーブル-DIR    行く-IMP

- (26) そのスプーンはテーブルの上にある．／テーブルにあるスプーン

[Lozhka (naxoditsja) na stole.]

xoŋaan    dərə-du    bi-i.  
スプーン    テーブル-DAT    ある-PTCP.PRS  
dərə-du    bi-i    xoŋaan.  
テーブル-DAT    ある-PTCP.PRS    スプーン

(27) そのペンは私のだ. ・そのペンは太郎のだ. / 私のペン・太郎のペン

[Eto ruchka - moja.]

次の文の -ngi [Poss] という接辞は「～のもの」という名詞を形成する接辞で、ロシア語学でいう「物主代名詞」のようなものを形成する接辞である。日本語で言えば形式名詞 no のような働きを示す。

ai mii niru-ku-ji. / ai niru-ku mi-ngi.  
これ 私 書く-NMLZ-1SG これ 書く-NMLZ 私-POSS

[Eto ruchka - Sashina.]

ai sasha niru-ku-ni. / ai niru-ku sasha-ngi.  
これ サーシャ 書く-PROP-3SG これ 書く-NMLZ サーシャ-POSS

(28) 昨日、学校で火事があった. / 私は明日用事があります.

[Vchera v shkole byl pozhar.]

čisæniæ shkola-do jægðæ bi-čin.  
昨日 学校-DAT 火事 ある-PTCP.PST

所有の接辞によっては表現できない。

\*shkola jægðæ-ku bi-čin.  
学校 火事-PROP ある-PTCP.PST

[Zavtra u menja est' delo.]

čimana minu jobon bi-i.  
昨日 私.DAT 仕事 ある-PTCP.PRS

/ čimana mii joboŋ-ko-ji.  
昨日 私 仕事-PROP-1SG

上記に見るように、「火事」や「仕事」はデキゴトであって具体的なモノではない。日本語では「ある」が使えるが、その意味は「モノの存在」ではなく、「デキゴトの生起」である。モンゴル語などではこのような場合に存在動詞は使えないようであるが、ナーナイ語では許容されることがわかる。ただしロシア語からの干渉ではないかという疑念は若干残っている。

(29) (この世には) お化けなんていない.

[(Ja dumaju) privedenie ne sushshestvuet.]

mii murči-i-ji, garbia-wori jaka abaa.  
私 思う-PTCP.PRS-1SG 夢に現れる-PTCP.IMPERS もの 無い

- (30) (そこには) 英語を話す人もいるが、話さない人もいる。

[Tam est' kto govorit po-angliski, i est' kto ne govorit po-angliski.]

[Tam est' govorjashshie po-angliski, i ne govorjashshie.]

[Tam est' znajushshie angliskij, i ne znajushshie.]

tado	<i>anglija</i>	<i>xəsə-wə-ni</i>	<i>saa-rii</i>	<i>nii=daa</i>	<i>bi-i,</i>
それ-DAT	英	語-ACC-3SG	知る-PTCP	人	ある-PTCP.PRS
<i>saa-rasi</i>		<i>nii=daa</i>	<i>bi-i=jə.</i>		
知る-PTCP.NEG.PRS		人=CUM	ある-PTCP.PRS=EMP		
tado	<i>poani</i>	<i>anglija</i>	<i>xəsə-wə-ni</i>	<i>saa-rii,</i>	
それ-DAT	ある者	英	語-ACC-3SG	知る-PTCP.PRS	
<i>poani</i>	<i>saa-rasi.</i>				
ある者	知る-PTCP.NEG.PRS				

- (31) 私より英語ができる人は (ほかに/もつと) います。

[Zdes' est' eshshe kto govorit po-angliski luchshe chem ja.]

まず提示された次の文は疑問文であるという。

<i>əi-du</i>	<i>ui=dəə</i>	<i>bi-i,</i>	<i>anglija</i>	<i>xəsə-wə-ni</i>	<i>mindui</i>
これ-DAT	誰=CUM	ある-PTCP.PRS	英	語-ACC-3SG	私.COMP
<i>uləən</i>	<i>saa-rii</i>	<i>nii?</i>			
良い	知る-PTCP.PRS	人			

次のような文が平叙文であるという。

<i>əi-du</i>	<i>ui=nuu</i>	<i>bi-i,</i>	<i>anglija</i>	<i>xəsə-wə-ni</i>	<i>mindui</i>
これ-DAT	誰=CUM	ある-PTCP.PRS	英	語-ACC-3SG	私.COMP
<i>uləən</i>	<i>saa-rii</i>	<i>nii.</i>			
良い	知る-PTCP.PRS	人			

<i>əi-du</i>	<i>mindui</i>	<i>uləən</i>	<i>anglija</i>	<i>xəsə-wə-ni</i>
これ-DAT	私-COMP	良い	英	語-ACC-3SG
<i>saa-rii</i>	<i>nai</i>	<i>bi-i=jə.</i>		
知る-PTCP.PRS	人	ある-PTCP.PRS=EMP		

- (32) ちょっとあなたにお願いがあります。

[U menja pros'ba k tebe.]

<i>mii</i>	<i>simbiə</i>	<i>mədəsi-ičə-i-ji.</i>
私	あなた.ACC	訊く-INT-PTCP.PRS-1SG

次の文は筆者の作例したものだが、少し変な文である、と判断された。

?? mindu sinči ŋanga gələ-uri baita  
私-DAT あなた-DIR 少し 求める-PTCP.IMPERS 事  
bi-i.  
ある-PTCP.PRS

次の文はコンサルタントが修正を加えた文だが、やはりなおも少し変な文に感じられるという。

?? sinči ŋanga gələ-uri baita,  
あなた-DIR 少し 求める-PTCP.IMPERS 事  
mindu bi-i.  
私.DAT ある-PTCP.PRS

(33) 冬の雨 東京の家

[V zimnij dozhd' xolodno.]

tuə tugdə-ni nonji. / tuə tugdə-du nonji.  
冬 雨-3SG 寒い 冬 雨-DAT 寒い

[Domik v dade staryj?]

daa-do bi-i joo(-si) goropči?  
ダダ村-DAT ある-PTCP.PRS 家-2SG 古い

なおダダ村はコンサルタントの住むナイヒン村の近隣の村である。所有構造による句は成立しないようだ。

\*daa joo-ni goropči?  
ダダ村 家-3SG 古い

(34) 犬の鳴き声／車の運転／～の小説

[Sobachij laj slyshno.]

コンサルタントから得られた次の句は形動詞とその主語による節を形成しているため、所有構造ではない。

inda waači-i-wa-ni doolji-ori.  
犬 吠える-PTCP.PRS-ACC-3SG 聞く-PTCP.IMPERS

[Trudno vodit' mashinu?]

ここでも形動詞が用いられるため、所有構造による表現は得られなかった。

<i>mashina</i>	<i>vodila-ori(-ni)</i>	<i>manğa?</i>
車	運転する-PTCP.IMPERS-3SG	難しい
<i>mashina-wa</i>	<i>vodila-ori</i>	<i>manğa?</i>
車-ACC	運転する-PTCP.IMPERS	難しい

[Chitali vy stixi Andreja Possara?]

アンドレイ パッサールはナーナイの詩人である。

<i>sii</i>	<i>andrej</i>	<i>possar</i>	<i>stixatvarenie-səl-bə-ni</i>	<i>xola-ka-si?</i>
あなた	アンドレイ	パッサール	詩-PL-ACC-3SG	読む-IND.PST-2SG

(35) 机の {横/前} に立って/?机に (来て!) /あの人の方

[Stoj (rjadom) okolo stola!]

ナーナイ語には日本語の場所名詞に良く似た一連の語が存在する。

<i>dərə</i>	<i>jakpa-do-a-ni</i>	<i>ilisi-u!</i>	<i>dərə</i>	<i>juljə-lə-ni</i>	<i>ilisi-u!</i>
机	そば-DAT-OBL-3SG	立つ-IMP	机	前-LOC-3SG	立つ-IMP

[Idi k stolul!]

名詞のトコロ性に関する顕著な制限は認められない。

<i>dərə-či</i>	<i>ən-uu</i>	/	<i>ji-duu.</i>
机-DIR	行く-IMP		来る-IMP

<i>dərə</i>	<i>baaro-a-ni</i>	<i>ən-uu.</i>
机	方-OBL-3SG	行く-IMP

[Kto sledujushij za nim?]

<i>ui</i>	<i>ňoani</i>	<i>xamia-la-ni?</i>
誰	彼	後ろ-LOC-3SG

(36) バラの花びら 果物のナイフ 紙の飛行機 チューリップの絵

[tsvetok rozy]

<i>roza</i>	<i>čačaka-ni</i>
バラ	花-3SG

[nozh dlja fruktov]

<i>amtaka</i>	<i>kučəə-ni</i>
果物	ナイフ-3SG

上記の句では何を指しているのかよくわからない可能性があるので次のように言うとよいという。

amtaka      čaaso-ori      kučəən  
果物      切る-PTCP.IMPERS      ナイフ

[samolet iz bumagi / bumazhnyj samolet]

-ma/-mə は材料等を示す形容詞を形成する派生接辞である。

xaosa-ma    samoleta  
紙-ADJVLZ    飛行機

これに対し、次のように所有構造で表現すると、「紙の上に飛行機があるかのような感じ」がするという。

\*xaosan    samoleta-ni  
紙      飛行機-3SG

[risunok lilii]

lilija ilga-ni    /    lilija-wa    ilga-la-xan    ilga  
百合 絵-3SG      百合-ACC    絵-VLZ-PTCP.PST    絵

前者の句はリリヤという女の子が描いた絵のようにも受け取れるので、後者の句のほうが良いという。

花の匂い    英文の手紙    日本語の先生    井戸の水    雨の日

[zapax tsvetka]

čačaka    puu-ni  
花      匂い-3SG

[pis'mo napisana po-nanajskij]

nanai-ji      niru-wuxən      bičxə  
ナーナイ-INS    書く-PTCP.IMPERS.PST    文字/手紙

nanai    xəsə-ni    bičxə-ni  
ナーナイ    言語-3SG    文字-3SG

この句は「ナーナイの表記法」の意に解釈されるという。

次のような句はいずれもその意味がよく理解できないという。

\*nanai-ji      bičxə      \*nanai      bičxə-ni  
ナーナイ-INS    文字      ナーナイ      文字-3SG



(37) 姉の花子／社長の田中さん

[Eto moja sestra marija.]

ai mii əikə-ji marija.  
これ 私 姉-1SG マリア-3SG

上記の意味で次のような所有構造の句を用いることはできないという。

\*əikə-ji marija-ni  
姉-1SG マリア-3SG

その場合には次のように表現しなければならないという。

əikə-ji gərbu-ni marija  
姉-1SG 名前-3SG マリア

正しいのかどうか忘れてしまって確認したい場合には、固有名詞である *marija* に次のように 3 人称の所有人称接辞がついた形が使われるという。この文は *sii əikə-si gərbu-ni* が主語である文と考えていたが、もしかすると *sii əikə-si* が主語である可能性もあり得る。

sii əikə-si gərbu-ni marija-ni?  
あなた 姉-2SG 名前-3SG マリア-3SG

これに対し、知らなくて単に訊く場合には次のように言うという。

sii əjkə-si gərbu-ni marija?  
あなた 姉-2SG 名前-3SG マリア

(38) となりの家の友達のお父さんの車のタイヤ (が昨日突然パンクしたんだって。)

[Vdrug lopnulo koleso mashiny ottsa moego druga.]

次のように、4 つの所有構造を連続させた句による表現は、いちおう理解はできるものの、良い文ではないとのことであった。

?? mii jia-ji ami-ni mashina-ni koleso-ni  
私 友達-1SG 父親-3SG 車-3SG タイヤ-3SG  
olokiana boja-xa-ni.  
突然 壊れる-PTCP.PST-3SG

次の文は、動詞を用いることによって所有構造を 1 つ減らしたもので、筆者による作例である。コンサルタントによれば、この方がよりましであるものの、依然として良い文とは言えないとのことであった。総じてナーナイ語では所有構造が連続することは好まれない。

いと言ってよいであろう。

? mii ĵia-ji amin-do-a-ni bi-i mashina koleso-ni  
私 友達-1SG 父親-DAT-OBL-3SG ある-PTCP.PRS 車 タイヤ-3SG  
olokiana boja-xa-ni.  
突然 壊れる-PTCP.PST-3SG

末筆になるが、高齢にもかかわらず来日して私を助けて下さった L. T. Kile 氏に深く感謝申し上げたい。細かい表記のミスなども指摘して下さい。査読の方にも感謝申し上げたい。勿論、何かミスがあればそれは筆者の責任である。

### 略号・記号

1, 2, 3: 1<sup>st</sup> person, 2<sup>nd</sup> person, 3<sup>rd</sup> person

ACC: accusative 対格

ADJVLZ: adjectivalizer 形容詞化

COMP: comparative 比較格

CUM: cumulative 累加

DAT: dative 与格

DESIG: designative case 指定格

DIR: directive 方向格

EMP: emphasis 強調

IMP: imperative 命令法

IMPERS: impersonal 非人称

IND: indicative mood 直説法

INS: instrumental case 道具格

INT: intentional 意志形

LOC: locative 処格

NEG: negative 否定

NMLZ: nominalizer 名詞化

OBL: oblique 斜格標示

PST: past 過去

PL: plural 複数

POSS: possessive 所有

PROP: proprietive 恒常的所有

PRS: present 現在

PTCP: participle 形動詞

REF: reflexive 再帰

SG: singular 単数

VLZ: verbalizer

### 参考文献

Onenko, S. N. 1980. *Nanajsko-russkij slovar'*. Russkij jazyk, Moskva.